

## 図画工作科 小学校第4学年カリキュラム

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">絵の具で遊んで 「自分いるがみ」</div> <p>絵の具遊びから思いついたことをかいてたのしむ</p>	A (2) ア	2 + 1	・中学校に至るまで、絵の具を使った様々な技法を習得する。絵の具のいろいろな使い方を試すことによって、自分の思いを表現する材料の一つとして用い、より豊かな発想・表現につなげることが必要である。	小学校第3学年 「絵の具と水のハーモニー」 「しょうかいします、わたしのだいすき」	○筆を使った技法以外の表現（模様作りなど）を試し、高学年のローラーを使った技法の習得につなげていく。	小学校第5学年 「めぜせ、ローラーの達人」 「でこぼこ広場に絵の具が走る」	■筆を使った技法以外の表現方法を試しながら、形や色の組み合わせをとらえ、自分のイメージを持つようにする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リズムにのって</div> <p>ねん土の特徴を考え、いきいきとした動きのある動物をつくる。</p>	A (1) ウ	2		小学校第3学年 「ひみつのねん土王国」	○やや大きな塊の粘土に一人を取り組む題材である。塊をひねったりつまみ出すなど、粘土の可塑性を十分に味わうことができるようにする。	小学校第5学年 「ねん土に自分の気持ちをこめて」	■量感のある形を作り出すために前だけでなく側面や後ろからも観察して制作するよう声をかける。
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ギコギコ、コロコロ たのしいなかま</div> <p>角材などをのこぎりで切ったり、木片を組み合わせたたりすることを楽しむ。</p>	A (2) ア	5		小学校第3学年 「小さなはこのものがたり」 「くぎうちトントン」	○手引きの両刃のこぎりあるいは片刃のこぎりで角材などを切ることを習得する題材である。この経験が電動糸のこぎりにつながるので、のこぎりの扱いに十分なれさせるようにする。	小学校第5学年 「糸のこのドライブ」	■のこぎりという道具を使い木とかかわる感覚を大切にしながら、できた形から想像を広げていくようにする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">木々を見つめて</div> <p>色づくりや筆使いなどをくふうして、気に入った木をかく</p>	A (2) イ	5		小学校第3学年 「わたしの休み時間」	○絵の具の色使いや筆使いを工夫しながら、木の特徴や幹の感じを表現することで、高学年の絵画へとつなげていくようにする。	小学校第5学年 「季節を感じて」 「葉っぱの美、発見」	■木々の形や色などの組み合わせや動きに注目させ、混色、重色の表し方を工夫しながら表現できるようにさせる。
6	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">みんなでどんでん むすんでつないで</div> <p>えたとえだのつなぎ方をくふうして思いついた活動をする。</p>	A (1) イ	2 +1	・低学年ではいろいろな材料をつなぐ活動を行ってきた。中学年では、今までの経験を生かし、集めてきた材料の特徴を考えながら組み合わせやつなぎ方を工夫し、作品の構想を広げていくことが必要である。	小学校第3学年 「長い紙、つくって」	○接着剤を使わないで、枝をつなぎ合わせていく技法を習得できるようにする。	小学校第5学年 「流れる風をつかまえて」	■木の枝と枝をつなぎ活動から、つなぎ方の形の良さ面白さに、目を向け表現を広げるようにする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">カードで味わう、形・色</div> <p>たがいの形や色の感じ方のちがいを楽しんだり味わったりする。</p>	B ア	2		小学校第3学年 「タッチ、キャッチ、さわごころち」	○中学年では、抽象的なものを目に見える形と色に表し、それを味わう内容であり、4年生では、言葉から思い起こすイメージの違いに焦点を当てるようにする。	小学校第5学年 「見つけたことを話してみよう」	■色や形を表す「言葉ののカード」や「色・形カード」をつくり、イメージの違いやおもしろさに気付かせるようにする。

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
8	パックパク かんたんなしくみを生かして動くおもちゃをつくる。	A (2) イ	4		小学校第3学年 「パタパタわにさん、クロールにちょうせん」	○つくりたいものに合った効果的な材料を選び、イメージに合った動きが生まれるように紙の貼り方や作り方を工夫する力を付けるようにする。	小学校第5学年 「くるくる回して」	■簡単な仕組みを作り、その動きからイメージを広げてつくりたいものを発想できるようにする。
	いい場所みつけてかこんでみたら 材料や場所の特徴から思いつき工夫して活動をする。	A (2) イ	2	・	小学校第3学年 「長い紙、つくって」	○高学年の空間や奥行きを感じた造形遊びにつなげていけるように、材料や場所に十分にかかわれるようにする。	小学校第5学年 「流れる風をつかまえて」	■仕切ることで生まれた空間と様々な材料から見慣れた場所の感じ方を変えることを意識して活動を進めるようにする。
9	まほうの力をもつ時計 言葉やお話から想像したことをくふうしてかく	A (2) イ	5		小学校第3学年 「ふしぎなのりもの」	○中学年では、言葉やお話をで想像を広げる。これまで学んできた描画材を組み合わせるなど想像の世界を工夫して絵に表すように指導する。	小学校第5学年 『そのぼ』くん登場	■時刻を示す時計が、どんな不思議なことを起こすことになるか、友達と楽しく話し合いながら想像の世界を広げることができるようになる。
10	つくって、つかって、たのしんで 板や厚紙を使って、生活に役立つ入れ物や箱をつくる。	A (2) ウ	5 + 1	・作りたい内容に合わせて材料や用具を選び、組み合わせを試すことによって、造形的なもの見方や考え方など、児童が発想を広げられるようにすることが必要がある。	小学校第3学年 「カラフルねん土のお店へようこそ」 「タイヤをつけて出発進行」	○木材の工作の系列題材と紙を主材料とする工作系列の選択的扱いの題材である。作りたい内容に合わせて材料や用具を扱うことを経験し、高学年での電動いとかやカッターナイフ扱いにつなげる。	小学校第5学年 「ビー玉、大ぼうけん」	■まず、棚や箱のような収納機能をもったものの構造を理解せ、その後、材料の選び方や手順を考えていけるようにする。
11	ほると出てくるふしぎな花 刷る楽しさから思いついたことをくふうして木版に表す	A (2) イ	5		小学校第3学年 「はんで広げたゆめ」	○初めて彫刻刀を使うので、刃の扱いに十分注意し、使い方に慣れるようにする。	小学校第5学年 「色を重ねて、ゆめを広げて」	■最初の2時間は、彫らない木版画として、刷りの楽しさを味わわせ、その色や形から想像し次に彫り、版をつくるようにする。

1 2	<p><b>ぎゅうぎゅうにつめこむと!</b></p> <p>形を変えた「自分マーク」をたくさんかく</p>	A (2) ウ	2		<p>小学校第3学年 「まんがでゴー」</p>	<p>○1つの形をもとに、それを様々に変形させてイメージを作っていく経験を通して、高学年の発想の基礎とつながるようにする。</p>	<p>小学校第5学年 「重なると、だれが前、どっちが後ろ！」</p>	<p>■どんなものにそれぞれの「自分マーク」を詰め込むと面白いかな想像して話し合い、発想を広げられるようにする。</p>
1	<p><b>だんボール、切って、つないで</b></p> <p>段ボールや場所の特徴から思いつき工夫して活動をする。</p>	A (2) イ	2		<p>小学校第3学年 「だんだんだんボール」</p>	<p>○ダンボールを切断したり接着したりと、自分の思いに合わせて造形的操作を行い、3年生より高度な内容になるようにする。</p>	<p>小学校第5学年 「同じもの、たくさん」</p>	<p>■ダンボールをいろいろな形に切るこ活動を行い、できた形をつないだり組み合わせたりしながら試す楽しさや発見する楽しさを味わうことができるようにする。</p>
	<p><b>願いの種から</b></p> <p>紙粘土を身近なものを組み合わせて思いついたものを工夫してつくる。</p>	A (2) イ	4		<p>小学校第3学年 「くつ下や手ぶくろにまほうをかけると」</p>	<p>○紙粘土を主材料にした立体表現に取り組む。紙粘土と身近な材料を組み合わせることを経験することで、高学年の針金の立体表現につなげていくようにする。</p>	<p>小学校第5学年 「そのときを形に」</p>	<p>■身近な材料の特徴を試し、作りたいものにあった材料をえらぶことができるようにする。</p>
2	<p><b>ハッピーカード</b></p> <p>伝えたいことをカードにしたのしむ。 ※選択教材</p>	A (2) ア	4		<p>小学校第2学年 「ひらいて見てね、わたしのえてがみ」</p>	<p>○これまでの経験を生かして材料や表現方法を工夫して作ることで、自分なりの表現を楽しみ、高学年・中学校でのデザイン領域の学習につなげていけるようにする。</p>		<p>■にじみを生かしたり木の枝を張り付けたり墨で文字を書いたりこれまで学んだ経験を生かすことができるようにする。</p>
	<p><b>くるっと回って、ごきげんいかが</b></p> <p>さかさまに見ると、違う顔に見える絵をくふうしてかく ※選択教材</p>	A (2) イ	4		<p>小学校第2学年 「ひらいて見てね、わたしのえてがみ」</p>	<p>○自分のイメージを相手に伝えることに着目し、に中学校でのデザイン領域の学習につなげていけるようにする。</p>		<p>■割ピンなどを使った画用紙を回転仕組みを理解し、そこから想像を広げていくことができるようにする・</p>
3	<p><b>ゆめいろらんぷ</b></p> <p>みんなで作ったランプの美しさを味わったり力を合わせて展示したりする。</p>	A (2) ア	2		<p>小学校第3学年 「みんなのゆめが広がって」</p>	<p>○持ち寄り共同制作の題材である。並べ方や展示方法を工夫し、自他のよさを認め合いながら、高学年での共同制作につなげていけるようにする。</p>	<p>小学校第5学年 「伝えたい気持ちを箱につめて」</p>	<p>■光を透す材料を集め、組み合わせを考え試しながら、自分のイメージを広げていけるようにする。</p>
	合計		60					